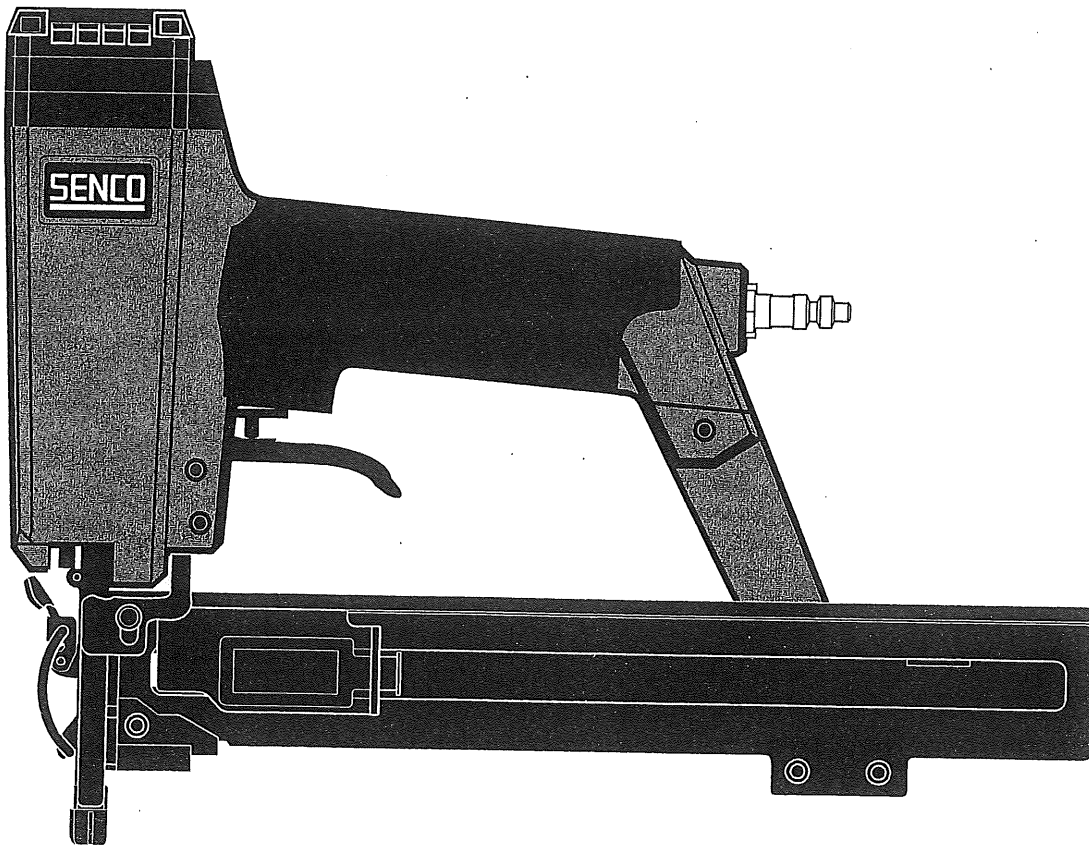


SENCO[®]
FASTENING SYSTEMS

センコ タツカ

SLS25 XP

取扱説明書



NFJ882 発行日平成 12 年 12 月 25 日

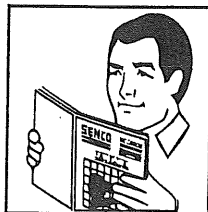
発売元 リョービ販売株式会社

目次

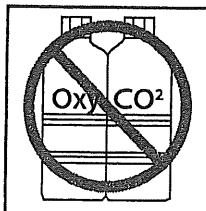
内容	ページ
安全作業の手引き	1
使い方	3
日々の点検	4
故障と対策	5
タッカとステーブルの仕様	6

安全作業の手引き

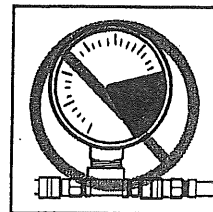
「安全作業の手引き」を充分読んでください。



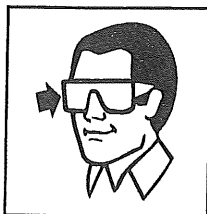
・酸素、炭素ガスは絶対に使用しないでください。



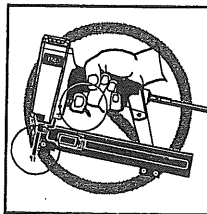
・1.34 MPa (13.7 気圧) 以上の高圧で使用しないでください。



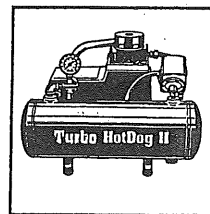
必ず安全メガネをしてください。



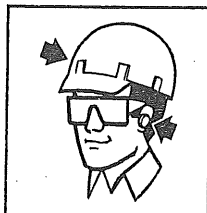
・セーフティーレバーが、なにかに当たって誤って押し上げられ、釘が発射する恐れがありますので作業中断時、あるいは釘打機を持ち歩く時は、必ず引き金から指を外してください。



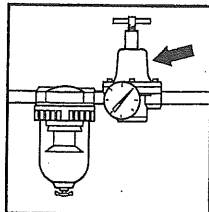
・清浄な圧縮空気をご使用ください。



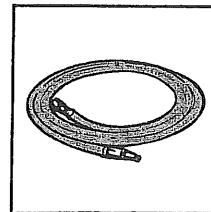
その他、耳栓及びヘルメット等保護具をしてください。



・指定された適正エア圧に調整してお使いください。本機の適正エア圧は 0.49~0.68 MPa (5~7 気圧) です。

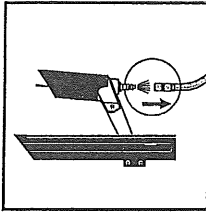


・使用エアホースは、最低 1 MPa (10.3 気圧)、あるいは使用エア圧の 1.5 倍の空気圧に耐えられるものを使用してください。

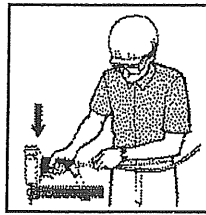


安全作業の手引き

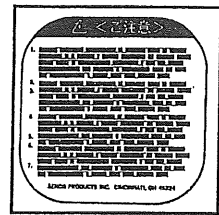
・カブラからエアホースを取り外したとき、釘打機内のエアが抜け出るカブラを使用してください。



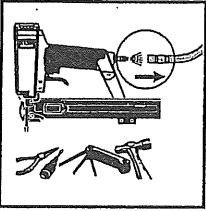
・釘打機には必ず釘が入っているという想定で、いつも注意して取り扱ってください。釘打機は作業道具であって、遊び道具に使わないでください。



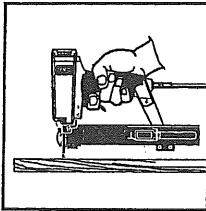
・安全作業についてのステッカー「ご注意」の貼られていない釘打機は使用しないでください。もし、そのステッカーを紛失あるいは損傷した場合は最寄りのリョービ販売(株)各営業所に連絡の上、新しいステッカーをつけてください。



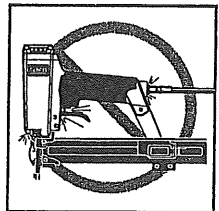
・釘打機の点検・修理時、つまった釘を取り除く時、他の場所へ移動させる時、又は、他の人に手渡す時は必ずエアホース(カブラ)をはずしてください。



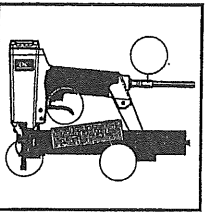
・硬すぎる材料に釘打をする場合には、完全に打ち込めない場合もあります。



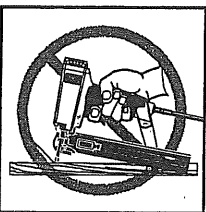
・エア漏れしている、又は、修理の必要な釘打機は、使用しないでください。



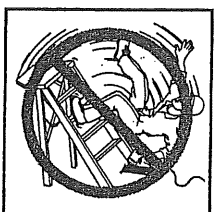
・釘を入れたままエアホース(カブラ)をつなぐと釘が発射する場合がありますので必ずエアホース(カブラ)をつながないでください。



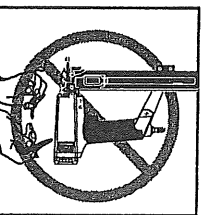
・釘が飛んで怪我のもとになりやすいので、打ち込み済みの釘の上から、又、浅い角度で釘打はしないでください。



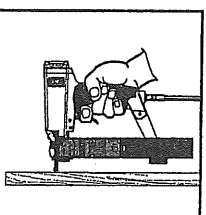
・足場の不安定な場所での釘打作業は避けてください。



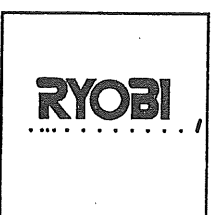
・安全装置、引き金、及びスプリングがこわれて動かなくなったときは、絶対にその釘打機を使用しないでください。



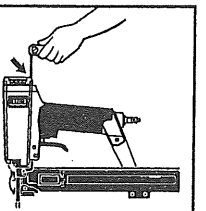
・二度打ちによる跳ね返りも起こる事がありますのでスペースのある所で釘打作業をしてください。二度打ちを避ける為、一本目の釘打作業が終わって次の釘を打つ用意ができるまで、セフティーレバーを押しつけないでください。



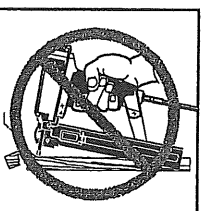
・センコ釘打機の安全作業についてお気軽に最寄りのリョービ販売(株)各営業所にお問い合わせください。



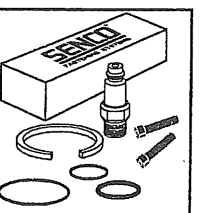
・毎日、使用前にネジ類の点検、増し締め、安全装置作動の確認を行ってください。もし部品の破損、紛失があれば絶対に使用しないでください。



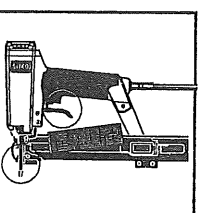
・材料の端部分への釘打は材料が飛んだりする恐れがありますので、際打ちはしないでください。



・修理部品や釘は、純正品をご使用ください。



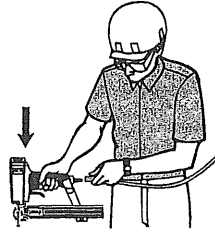
・引き金を引いたまま、あるいはセフティーレバーを押さえたまま釘を入れしないでください。



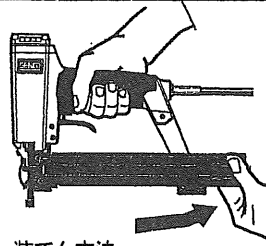
使い方



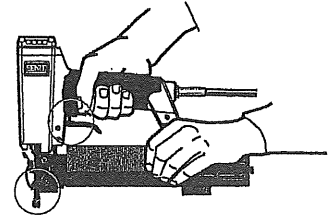
・本機をご使用になる前に必ず「安全の手引き」を読んでください。



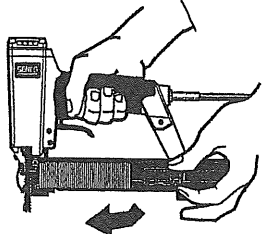
・ホースをつなぐ時は、引き金から指を離し、発射口を自分又、他人に向けてないで下向きしておこなってください。



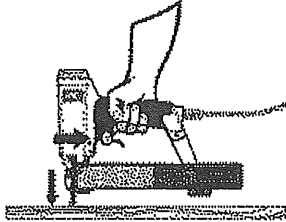
・装てん方法
フィーダーシューをうしろに引いてロック位置で固定して下さい。



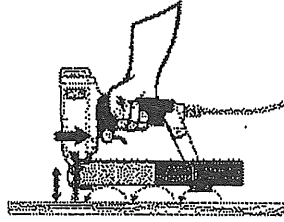
・ステープルをマガジンレールに装てんして下さい。SENCO 純正ステープルをご使用下さい。セフティーやトリガーを引いた状態での装てんはしないで下さい。



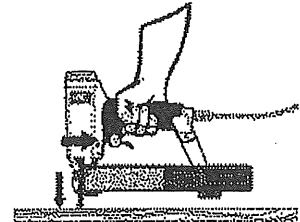
・フィーダーシューを解除して前方へスライドさせて下さい。



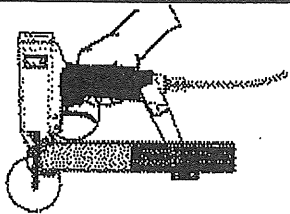
・単発式
① 初めにセフティーレバーを作業面に押しつけます。
② 次に引き金を引くと釘が発射されます。



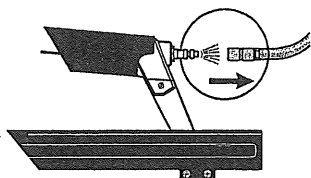
・連発式
引き金を引きっぱなしにしてセフティーレバーを作業面に打ちつけると、連続的に発射されます。



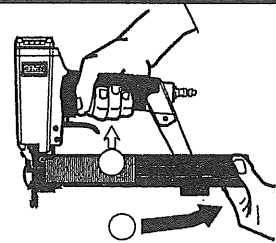
・単発式は特に正確な釘打ち作業をする場合に向いています。



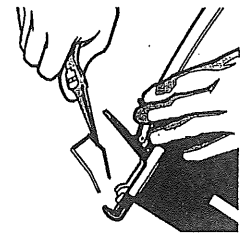
・セフティーレバーが、なにかに当たって誤って押し上げられ釘が発射する恐れがありますので、作業中断時あるいは釘打機を持って歩く時は必ず引き金から指を外してください。



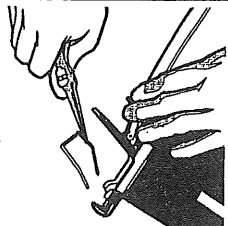
・釘づまりを起こしたらまず、エアーホース（カブラ）をはずしてください。



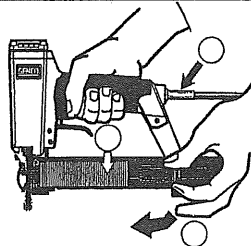
・フィーダーシューをうしろに引いてロック位置で固定してステープルを取りはずして下さい。



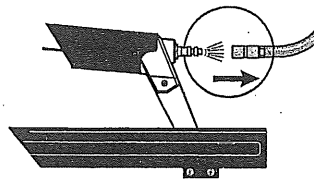
・セットレバーを引いてフロントプレートを開けます。



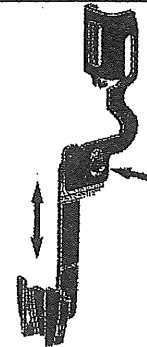
・つまった釘を取り除いたらセットレバーをもどしフロントプレートをきちんと正しい元の位置にもどします。



・エアーホース（カブラ）をつないでステープルを装てんして下さい。フィーダーシューを解除して前方へスライドさせて下さい。



・釘の打ち込み深さ調整をする時はまず、エアーホース（カブラ）をはずしてください。

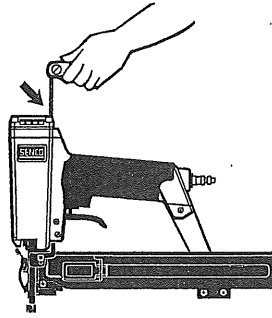


・深さ調整機能がついています。
まず、ネジをゆるめてからセフティーを上下どちらかにゆっくりスライドさせて下さい。そして再びネジをしめて位置決めをして下さい。セフティーを上上げると深くなり下に下げると浅く打ち込みます。

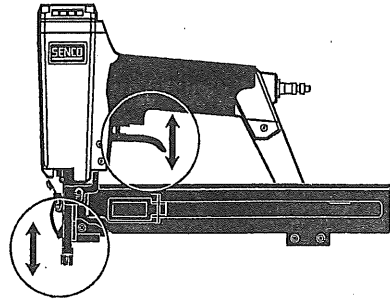
日々の点検



・「安全作業の手引き」を充分読んでください。



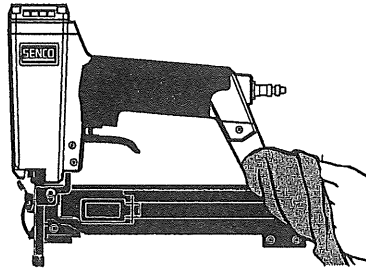
・ご使用前には必ず各部のネジ類を点検してください。ネジがゆるんでいると使用上危険で、故障の原因となります。



・ご使用前に安全装置がスムーズに正しく作動するかどうかを確認してください。

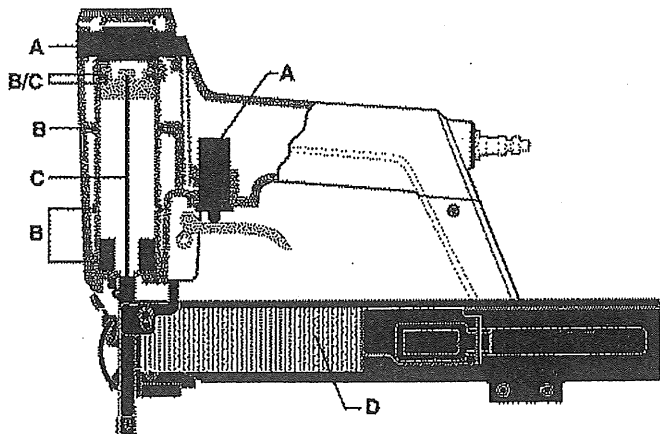


・オイルの注入は不要です。
オイルフリー



・毎日釘打機をきれいにふいて、破損してないかよく点検してください。
O-リングやその他部品を損傷させる恐れがありますので非可燃性の溶剤を使用し決してそれに漬けたりしないでください。

故障と対策

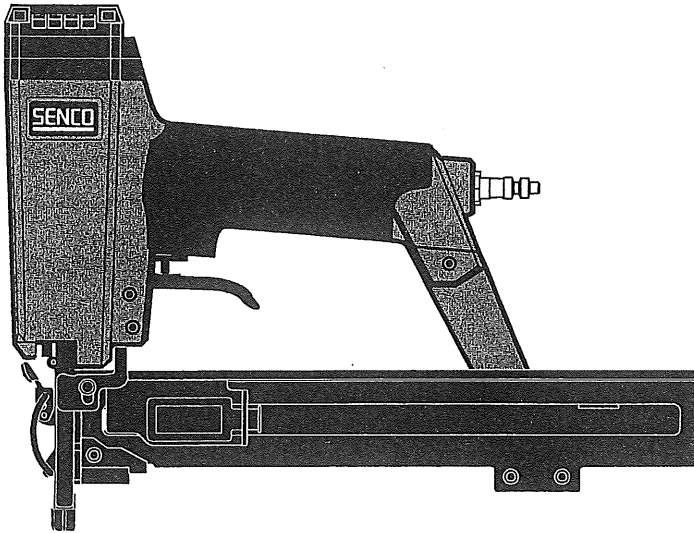


- ・点検・修理は必ずホースをはずしてから行ってください。
- ・下段に該当しない故障及びその他アフターサービスのお問い合わせは最寄りのリョービ販売（株）各営業所へお気軽にご連絡ください。
- ・修理用パーツキット

故障	対策
1. キャップ廻りからエアーもれ。	キャップスクリューを点検・増し締め。 又はパーツキット“A”部品交換。
2. 引き金を引いても反応しない。	空気圧を点検。 又はパーツキット“A”部品交換。
3. ツールのサイクルが不安定。	パーツキット“A”部品交換。
4. ボディーとガイドボデーの間からエアーもれ。	ネジを点検・増し締め。 又はパーツキット“B”部品交換。
5. ドライバーの戻りが悪い。	ピストンシリンダー廻りを清掃。 又はパーツキット“B”部品交換。
6. 打込力が弱い。	空気圧を点検。 又はパーツキット“C”部品交換。
7. ドライバーの摩耗・折れ。	パーツキット“C”部品交換。
8. 釘の送り不具合。	マガジン部を清掃。 又はパーツキット“D”部品交換。
9. 釘づまり。	ガイドボデー廻りを点検。 又はパーツキット“D”部品交換。
10. その他。	最寄りのリョービ販売（株）各営業所へお問い合わせください。

お問い合わせ先 発売元 リョービ販売株式会社

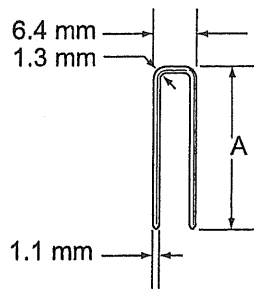
モデル SLS25 タッカと使用ステープル



本体仕様

重量: 1.21 kg
 高さ: 229 mm
 幅: 51 mm
 長さ: 305 mm
 装填数: 168 本
 使用気圧: 0.49~0.68 MPa
 ホース内径: 6 mm 以上

使用ステープル仕様 (テープ連結)



コード	A
	mm
L06	10
L07	11
L08	13
L10	16
L11	19
L12	22
L13	25
L14*	29
L15*	32
L17*	38

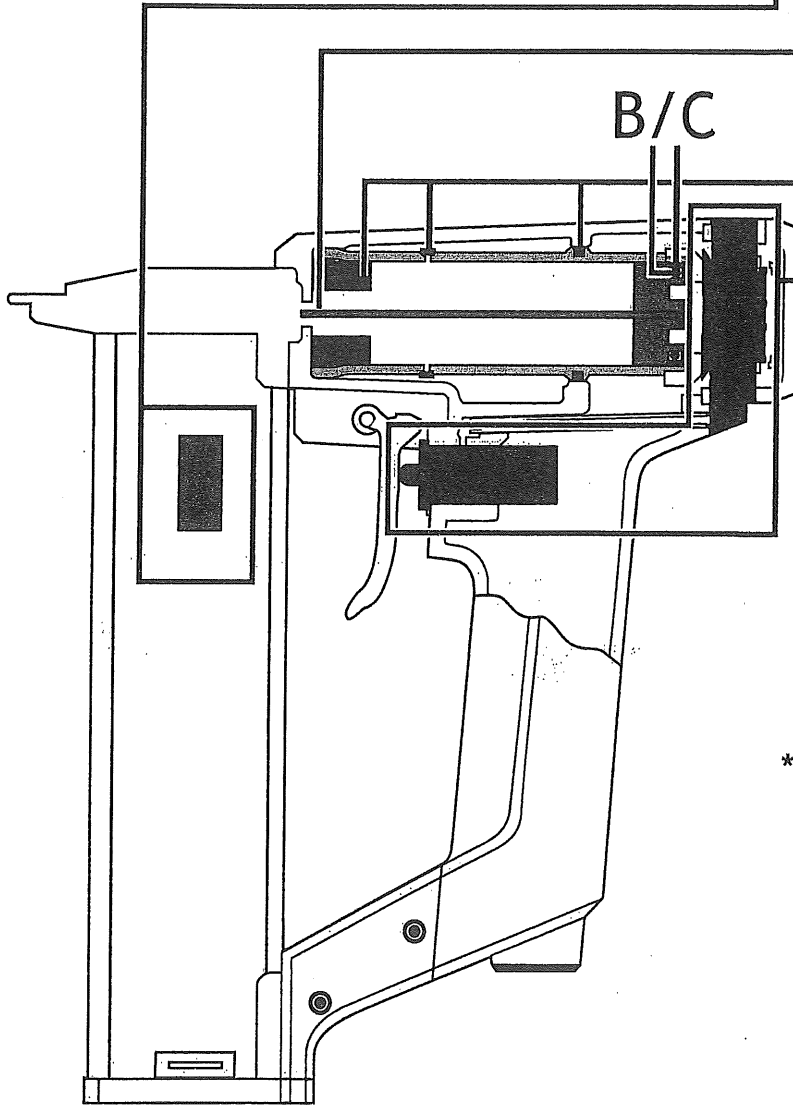
SLS25

パーツ参考ガイド



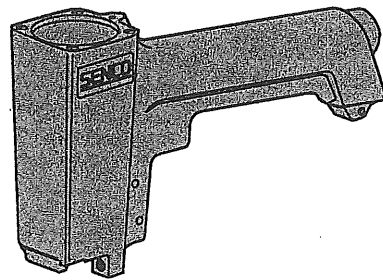
Senco Products, Inc.
8485 Broadwell Rd.
Cincinnati, OH 45244
ホームページ www.senco.com

ご質問、ご意見、お問い合わせ先 e-mail: toolprof@senco.com



パーツキット

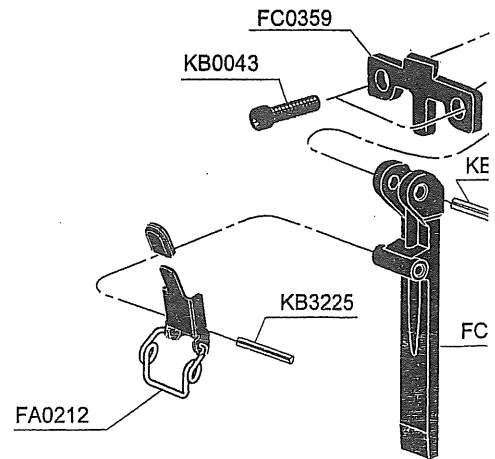
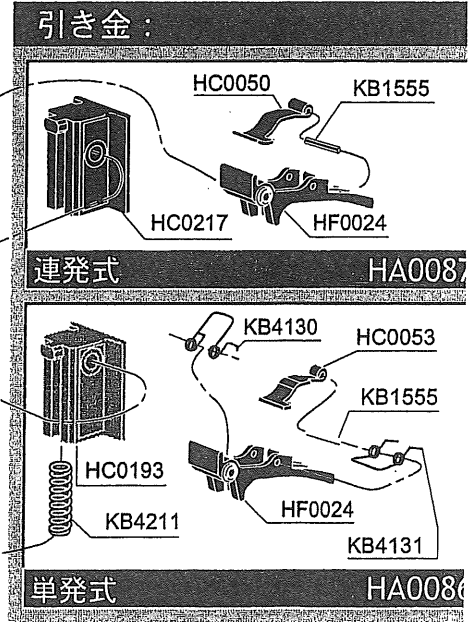
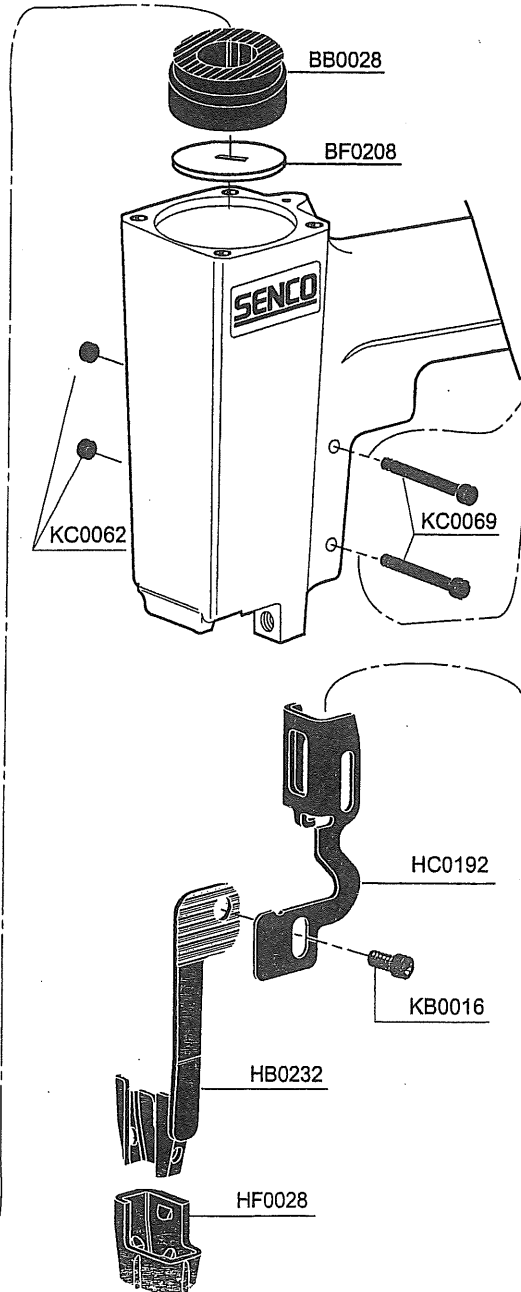
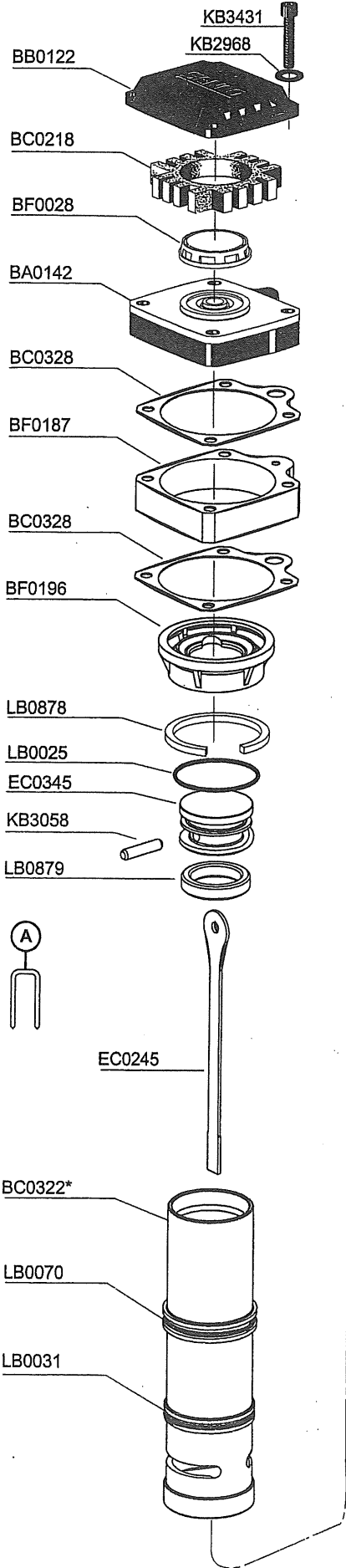
- D YK0209
- C YK0286
- B YK0291
- A YK0292

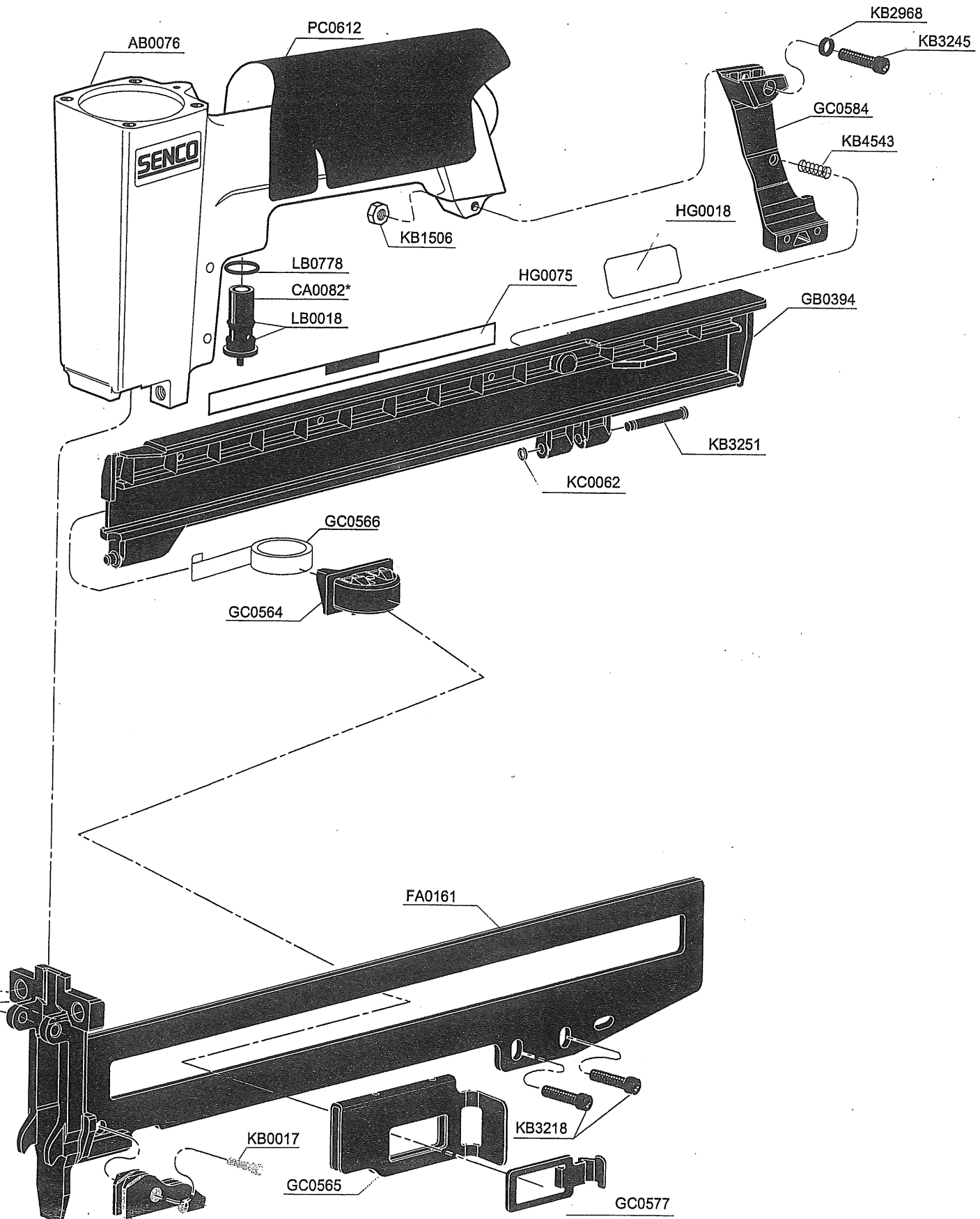


* 設計図入り

故障	
キャップ廻りからエアもれ。 引き金を引いても反応しない。 ツールのサイクルが不安定。	A
ツール下部からエアもれ。 ドライバーの戻りが悪い。	B
打込力が弱い。 ドライバーの磨耗・折れ。	C
釘の送り不具合。 釘づまり。	D

モデル		A
821003N 連発式	L06-L17	
821004N 単発式	L06-L17	





**FC0233

**長さ 25mm 以下のステープルを打つためには、ステープルガイドをマガジン前方に設置する必要があります。

PART NO.	DESCRIPTION	部品名
AB0076	MAIN BODY ASSY	メインボディーアセンブリー
BA0142	VALVE ASSY.	バルブアセンブリー
BB0028	STOP	ストップ
BB0122	DEFLECTOR	デフレクター
BC0218	MUFFLER	マフラー
BC0322	CYLINDER	シリンダー
BC0328	SEAL	シール
BF0028	SEAL	シール
BF0187	SPACER	スペーサー
BF0196	RETAINER	リテイナー
BF0208	SEAL	シール
CA0082	VALVE ASSY.	バルブアセンブリー
EC0245	DRIVER	ドライバー
EC0345	PISTON	ピストン
FA0161	RAIL ASSY	レールアセンブリー
FA0212	LATCH	ラッチ
FC0233	DOOR	ドア
FC0359	PLATE	プレート
GB0341	DOOR	ドア
GC0564	COVER	カバー
GC0565	FEEDER SHOE	フィーダーシュー
GC0566	SPRING	スプリング
GC0568	GUIDE	ガイド
GC0572	RAIL	レール
GC0577	LATCH	ラッチ
GC0584	SUPPORT	サポート
HA0086	TRIGGER ASSY	トリガーアセンブリー
HA0087	TRIGGER ASSY	トリガーアセンブリー
HB0232	SAFETY ELEMENT	セーフティーエレメント
HC0050	TRIGGER	引き金
HC0053	TRIGGER	引き金
HC0192	SAFETY ELEMENT	セーフティーエレメント
HC0193	GUIDE	ガイド
HC0217	GUIDE	ガイド
HF0024	TRIGGER	引き金
HF0028	CUSHION	クッション
HG0018	LABEL	ラベル
HG0075	LABEL	ラベル
KB0016	SCREW	ネジ
KB0017	SCREW	ネジ
KB0043	SCREW	ネジ
KB1506	NUT	ナット
KB1555	PIN	ピン
KB2968	WASHER	ワッシャー
KB3058	PIN	ピン
KB3218	SCREW	ネジ
KB3225	PIN	ピン
KB3239	PIN	ピン
KB3245	SCREW	ネジ
KB3251	RETAINER	リテイナー
KB3431	SCREW	ネジ
KB4130	SPRING	スプリング
KB4131	SPRING	スプリング
KB4211	SPRING	スプリング
KB4543	SPRING	スプリング
KC0062	RETAINER	リテイナー
KC0069	PIN	ピン
LB0018	SEAL	O-リング
LB0025	SEAL	O-リング
LB0031	SEAL	O-リング
LB0070	SEAL	O-リング
LB0778	SEAL	O-リング
LB0878	SEAL	O-リング
LB0879	SEAL	O-リング
PC0612	GRIP	グリップ

エアタツカを安全にご使用いただくために

このたびは、センコエアタツカをお買上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの安全に関する注意事項、及び取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。

- ・作業場は十分に明るくしてください。
- ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 3. 動力源は乾燥したきれいな圧縮空気のみを使用してください。
 - ・圧縮酸素、水素など圧縮空気以外の高圧ガスを使用しますと、爆発の恐れがあります。
- 4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、工具やエアホースに触れさせないでください。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- 5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- 6. 作業に合った工具を使用してください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
- 7. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
- 8. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、周囲の状況に合わせ、ヘルメット、耳栓、防塵マスクなどの保護具を使用して下さい。
- 9. エアホースを乱暴に扱わないでください。
 - ・エアホースを持って工具を運んだり、エアホースを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- 10. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- 11. 工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、注油や付属品の交換を、取扱説明書に従って行ってください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
- 12. 次の場合は、エアホースを動力源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・ネイル、ステーブル等を交換する場合。
 - ・各部の調整をする場合、その他危険が予想される場合。
- 13. 不意な始動は避けてください。
 - ・エアホースを動力源につないだ状態で、トリガに指をかけて運ばないでください。
 - ・エアホースを動力源につなぐ前に、安全装置が正常に作動することを確認してください。
- 14. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。

15. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。

16. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書およびセンコカタログ、リョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

17. 工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術ない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

エアタッカご使用に際して

先にエア工具としての共通の注意事項を述べましたが、エアタッカをご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

警 告

1. 乾燥したきれいな圧縮空気のみをご使用ください。
 - ・空気以外の高圧ガスを使用しますと、レギュレーターを凍結させたり、潤滑油との接触、またネイル打込み時の火花などにより、爆発する恐れがあります。
2. 指定の圧力範囲でご使用ください。
 - ・銘板、取扱説明書に指定された範囲の圧力より高い圧力を接続すると、本体の破壊によりけがをすることがあります。
3. いかなる場合にも、射出口を人体には向けないでください。
 - ・けがの原因になります。
4. 保護めがねを使用してください。
 - ・排気圧により舞上がった粉塵や、打損じにより跳返ったステーブルが目に入る恐れがあります。

5. 作業を行わない時、及び修理の際には、必ずエアカプラを外してください。
 - ・けがの原因になります。
6. 使用前には、安全装置が正常に作動するか必ず確認してください。
 - ・安全装置が正常に作動しない場合は、直ちに使用を中止して、お買上げ販売店又はリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
安全装置が作動不良の状態で使用しますと、けがの原因になります。
7. 使用前に各ネジ類がゆるんでいないか、必ず確認してください。
 - ・締付けが不完全な状態で使用しますと、機械が破損してけがの原因になります。

△ 注 意

1. 打ち込み時以外はトリガに触れないでください。
 - ・けがの原因になります。
2. 安全な作業を行うために、ヘルメット、作業シューズを使用するなど、周囲の環境に合わせた保護具を整えてください。
3. 使用後は必ず、ステーブルを全部抜取って保管してください。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社